

産 婦 人 科

名古屋大学医学部附属病院

病院長名 石黒 直樹

所在地 〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

交通案内 JR中央線：「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩3分
名古屋営地下鉄：「鶴舞駅」下車 徒歩8分



病院の特徴

名古屋大学では、従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学産婦人科研修施設群産婦人科研修プログラム

【研修目標】

- 患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる産婦人科専門医を育成して、県民、国民の健康に資する。
- 高度な医療に携わり標準治療や先進的な医療を経験し学ぶとともに、地域医療を担う連携病院での研修を経て東海地域の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行う。
- 基本的臨床能力獲得後は産婦人科専門医として東海全域を支える人材の育成を行う。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

3年の研修期間中、基幹施設である名古屋大学附属病院での6ヶ月間以上の研修を必須とする。詳細は下記HPを参照のこと。

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/obgy/training/program/>



▲指導医の手術指導の様子



▶産婦人科野球チームで息抜き

主な連携施設

名古屋第二赤十字病院、愛知県がんセンター中央病院、名古屋掖済会病院、中部労災病院、中京病院、名古屋記念病院、名城病院、聖霊病院、南生協病院、豊橋市民病院、トヨタ記念病院、小牧市民病院、岡崎市民病院、豊田厚生病院、刈谷豊田総合病院、安城更生病院、津島市民病院、半田市立半田病院、総合犬山中央病院、春日井市民病院、大垣市民病院、岐阜県立多治見病院、静岡済生会病院

メッセージ

指導医

産婦人科学教授 吉川 史隆



あなたが医師を志した理由はなんですか？成績が良かったから、開業医を継がなければいけなかったから、ブラックジャックに刺激されて、など様々でしょう。きっかけがどんなものであれ、ひとの役に立ちたい、病気を治し喜んでもらいたい、など純粋な気持ちが根底にあると思います。

産婦人科は、社会から必要とされ、患者さんと喜びを共有し、生命の誕生という神秘的に立ち会える、やりがいのある仕事だと感じます。産婦人科は生命の誕生に立ち会うだけでなく、出生前後で母に深く関わり、思春期・性成熟期・老年期の女性の健康をトータルでサポートし、時には婦人科腫瘍の手術を中心とした集学的治療を実践する、幅広い診療分野です。

名古屋大学産婦人科研究施設群産婦人科研修プログラムでは、多くの連携施設と協力しながら東海地域の産婦人科医療を担っています。それぞれに特徴を持った連携施設との緊密な連携により、基幹施設での高度な医療や先進医療の経験だけでなく、幅広い連携施設の中でそれぞれの専攻医のニーズに合わせた個別の研修プログラムの提供が可能です。

生命の誕生から死まで、女性のトータルサポートを行う女性総合診療科として、ともに取り組んでいく仲間を心から歓迎します。

募集要項

採用予定人数	25人	
給与／月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給	
当直回数／月	約5回／月	
当直料／回	20,000円／回	
その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可	
応募連絡先	担当者	後藤 真紀
	電話番号	052-744-2261
	Eメール	m-hirose@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋第二赤十字病院

病院長名	石川 清
所在地	〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町2番地の9
交通案内	地下鉄：名城線八事日赤駅下車 2番出口すぐ バス：市バス妙見町行 八事日赤病院停下車



病院の特徴

当院は、歴代院長が首尾一貫した方針で病院の進むべき方向性を定め、歴史と伝統である救急医療、高度医療、災害救護と国際救援、周産期医療、医療連携、研修医教育などを推進することによって現在の病院にまで発展してきました。

特に「研修医は病院発展の原動力」との考えのもと、研修医教育には最重点を置き研修医教育指導体制の充実を図ってきました。そして、さらなる充実した研修医教育を実現するため、2013年4月から新たに臨床研修部を創設いたしました。

研修プログラムの特徴

名古屋第二赤十字病院産婦人科研修プログラムでは、日本でも有数の高度な専門性を有する一流施設と連携し、高い志を持つ産婦人科専攻医が研修するために最適な環境を提供しています。

基幹施設である名古屋第二赤十字病院は、日本産科婦人科学会の卒後研修指導施設であり、かつ日本周産期新生児学会の基幹研修施設(母体胎児部門)、日本婦人科腫瘍学会の専門医研修施設の認可も受けており、さらに愛知県指定の総合周産期母子医療センターも担っており、周産期、婦人科腫瘍を中心とした幅広い研修が行えます。さらに周産期医療に定評のある日本赤十字社医療センター、婦人科腫瘍の専門施設として東海地区を代表する愛知県がんセンター中央病院、不妊治療において全国から患者を集める浅田レディースクリニック、婦人科内視鏡治療に定評を持つ豊橋市民病院、子宮鏡、内視鏡治療をはじめ地域に密着した患者にやさしい治療を目指す豊田厚生病院と連携しており、産婦人科のすべての分野でトップレベルの医療に触れることが出来ます。

■研修スケジュール(例)

専門研修 1～2 年目

名古屋第二赤十字病院産婦人科(周産期、婦人科腫瘍、女性ヘルスケア)

専門研修3年目

プログラム統括責任者と相談して、名古屋第二赤十字病院産婦人科の専門研修施設群各施設の特徴(腫瘍、生殖医学、腹腔鏡下手術、周産期医療、女性のヘルスケア、地域医療)に基づいたコース例に示したような連携施設での研修



主な連携施設

愛知県がんセンター中央病院、浅田レディース勝川クリニック、浅田レディース名古屋駅前クリニック、愛知厚生連豊田厚生病院、日本赤十字社医療センター、豊橋市民病院

メッセージ

「一流に触れて、将来像を描く」

第一産婦人科部長・産婦人科PG責任者／
産婦人科 **山室 理**



専攻医プログラムは「一流に触れる」をテーマに作成しました。それぞれの分野で一流と呼ばれるドクターに学ぶのは、とても刺激的で意義深いこと。産婦人科医としての将来像が描けるはずですよ。

私が担当する婦人科では、子宮がんや卵巣がんなどのがん治療に力を入れています。がん手術件数は年間約80件。良性疾患を加えた手術件数は愛知県内の病院でも有数の実績を誇ります。このほか、腫瘍にのみ放射線を照射するトモセラピーも実施。高度治療を間近に見ることができます。またチャイルドサポートや就労支援などのがんサポートの分野にも力を入れています。

第二産婦人科部長
加藤 紀子

産科は、平成21年4月に愛知県で2番目の総合周産期母子医療センターに認定されました。リスクの高い母体緊急搬送も積極的に受け入れています。分娩数は年間1000件と多く、妊娠合併症など難しい症状を扱うケースも少なくありません。平成29年4月から周産期脳卒中センターを開設。母胎救命処置を学ぶJ-CIMELS講習会も当院で開催されます。当直勤務もある忙しい職場ですが、生命の誕生の瞬間に立ち会えた喜びは、何事にも代えられないもの。とてもやりがいのある仕事です。

募集要項

採用予定人数	3人	
給与／月額	3年目 平均約750,000円／月	
当直回数／月	診療科によって異なる	
当直料／回	診療科によって異なる	
その他		
応募連絡先	担当者	教育研修推進室
	電話番号	052-832-1121
	Eメール	education@nagoya2.jrc.or.jp

名古屋市立大学病院



病院長名	小椋 祐一郎
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

病院の特徴

当院は808床の病床、30の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋市立大学産婦人科研修プログラム

産科婦人科専門医資格取得を目標に基幹病院及び連携施設をローテーションします。各々の施設の特徴を最大限に活用し世界の最先端の生殖（不育症・不妊症等）、周産期（ハイリスク妊娠・出生前診断等）、婦人科腫瘍（婦人科癌・婦人科内視鏡手術等）やウイメンズヘルスのスキルをバランス良く習得するコースです。学会発表や論文作成の指導も受けられ、一般臨床からサブスペシャリティまで6年次以降のキャリアプランの“コンパス”になる市大産科婦人科スーパーローテーションプログラムです。

【研修モデル】

1-2年次の初期研修は名古屋市立大学病院初期臨床研修プログラムが適応されます。プログラム4（重点研修プログラム：産科婦人科コース）は3年次以降の専攻医研修へのスムーズな移行に役立つ内容になっています。

臨床研修プログラム		
3年目 <専攻医1年次>	周産期・出生前診断 (6ヶ月) <大学病院>	周産期 (6ヶ月) <西部医療センター>
4年目 <専攻医2年次>	生殖(不妊症・不育症) (6ヶ月) <大学病院>	婦人科内視鏡 (6ヶ月) <東部医療センター>
5年目 <専攻医3年次>	婦人科腫瘍 (6ヶ月) <大学病院>	地域医療 (6ヶ月) <研修連携病院>

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照
http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



主な連携施設

名古屋市立西部医療センター、名古屋市立東部医療センター、江南厚生病院、一宮市立市民病院、稲沢厚生病院、海南病院、知多厚生病院、公立陶生病院、豊川市民病院、いなべ総合病院、諏訪中央病院 全11施設

メッセージ

産婦人科医としての人生を 最高の形でスタートさせましょう!

産科婦人科教授 尾崎 康彦



私たちの使命は、産婦人科医として関わる全ての患者さんの“健康な状態(well-being)”の維持に貢献すること、また情熱溢れる産婦人科医を育成し、研究を通じて新たな“エビデンス”を世界中に発信することです。難治性の不妊症・不育症に挑む者。婦人科腫瘍の手術を極める者。そして胎児の病と闘う者達が“今と未来の患者さんの幸せ”を願って、日夜働いています。各々が自由に自分自身の目標を追求している“真摯な姿勢”がここにあります。産婦人科医は多くの“おめでとうございます”と“ありがとうございます”の声に支えられています。“夢とプライド”を持って、産婦人科医としてのキャリアをここからスタートさせましょう。

産婦人科

募集要項

採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
給与/月額	228,000円～478,000円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
当直回数/月	4回程度(診療科により異なる)
当直料/回	24,000円～34,000円
その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
応募連絡先	担当者 医学・病院管理部教育研究課医療人育成係 専攻医募集担当
	電話番号 052-853-8545
	Eメール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

藤田保健衛生大学病院

平成30年1月 新棟オープン



病院長名	湯澤 由紀夫
所在地	〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98
交通案内	名鉄線名古屋駅より (22分) 前線駅下車、名鉄バス (15分) 「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より (35分) 徳重駅下車、名古屋市営バス(徳重13系統)または名鉄バス (16分) 「大学病院」下車 / 豊田線伏見駅より (21分) 原駅下車、名古屋市営バス(徳重13系統) (33分) 「大学病院」下車

病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院のDPC件数が全国の大学病院の中で第1位となりました。(平成26・27年度)

当産婦人科では、婦人科腫瘍、周産期、女性のヘルスケア、生殖医療、内視鏡手術、さらに地域医療に特化した最新の医療を提供することにより、個々の女性に対するトータルライフサポートを目指しています。また、エビデンスに基づく医療の実践のみならず、新たな診断技術や手術手技を取り入れた先端医療や臨床研究も多数行っています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

産婦人科研修プログラム

【研修目標】

患者さんに信頼され、標準的な医療を提供できるとともに、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、医師としての責務を自律的に果たせる産婦人科専門医を育成する。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

●専門研修 1 年目

内診、直腸診、経膈エコー、通常超音波検査、胎児心拍モニタリングの解釈ができるようになる。正常分娩を指導医・上級医の指導のもとで取り扱える。また、指導医・上級医の指導のもとで通常の帝王切開、子宮内容除去術、子宮付属器摘出術ができる。

●専門研修 2 年目

妊婦健診および婦人科の一般外来ができるようになる。正常および異常な妊娠・分娩経過を判別し、問題のある症例については指導医・上級医に確実に相談できるようになる。正常分娩を一人で取り扱える。指導医・上級医の指導のもとで通常の帝王切開、腹腔鏡下手術ができる。

●専門研修3年目

3年目には専攻医の修了要件全てを満たす研修を行う。帝王切開の適応を一人で判断できるようになる。通常の帝王切開であれば同学年の専攻医と一緒にできるようになる。指導医・上級医の指導のもとで前置胎盤症例など特殊な症例の帝王切開ができるようになる。指導医・上級医の指導のもとで癒着があるなどやや困難な症例であっても、腹式単純子宮全摘術ができる。悪性手術の手技を理解して助手ができるようになる。



▲産婦人科技術講習会の様子



▲藤井多久磨・主任教授

主な連携施設

- 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
 - 社会医療法人財団親和会八千代病院
 - 医療法人清慈会鈴木病院
 - 富山県立中央病院
- 他

メッセージ

指導医

臨床教授 西澤 春紀



産婦人科研修プログラムでは、知識を単に暗記するのではなく、個々の症例に対して、診断・治療の計画を立てていく中で指導医とともに考え、調べながら学ぶプログラムを作成しています。特に若手医師を中心とした診療レベルの向上やチーム医療の充実を目的し、産婦人科症例検討会や勉強会のほかに、腫瘍内科との腫瘍カンファレンス、放射線科医との画像診断カンファレンス、放射線治療医との治療カンファレンス、病理医との病理診断カンファレンス、小児科・小児外科医との周産期カンファレンス等の関連診療科との合同検討会を毎週または定期的を実施し、個々の症例から幅広く最新の知識を学ぶことができる場を数多く提供したいと考えております。また、カリキュラムの技能を修得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた研修を開始し、大学院進学希望者には、臨床研修と平行して研究を開始することも可能なプログラムになっています。

さらに、時短勤務の導入や産休・育児休暇の活用など個々のワークライフバランスを重視し、若手や女性でも活躍することが可能な環境を整備することにより、皆が楽しく成長できる職場であるのが最大の特徴でもあります。産婦人科医療の将来に向けて、より多くの先生方の応募をお待ちしております。

募集要項

採用予定人数	6人	
給与/月額	基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり	
当直回数/月	4~5回/月	
当直料/回	当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回	
その他		
応募連絡先	担当者	藤井 多久磨・医局長・秘書
	電話番号	0562-93-9294
	Eメール	Obgy9294@fujita-hu.ac.jp

愛知医科大学病院



病院長名	羽生田 正行
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線：藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約 20 分 東名高速：名古屋 IC から車で約 15 分

病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元氣ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になること、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学産婦人科プログラム

【研修目標】

当専門研修の目標は、生殖・内分泌領域、婦人科腫瘍領域、周産期領域、女性のヘルスケア領域の4領域にわたり、十分な知識・技能を持ち、標準的な医療の提供を行うことです。また産婦人科専門医は必要に応じて産婦人科領域以外の専門医への紹介・転送の判断を適切に行い、産婦人科領域以外の医師からの相談に的確に応えることのできる能力を備える必要があります。また産婦人科専門医は必要に応じて産婦人科領域以外の医師からの相談に的確に応えることのできる能力を備える必要があります。

愛知医科大学病院産婦人科専門研修施設群での研修修了後は、主として愛知県の医療機関において産婦人科医療を中心的に支える役割を担い、もし本人の希望により本施設群以外（県外を含め）での就業を希望する場合にも、いずれの医療機関でも不安なく産婦人科診療にあたる実力を養えます。また、希望者はSubspecialty領域専門医の研修や大学院などでの研究を同時に開始する準備が整っている事も本施設群での研修の特徴です。

【研修期間】

3年



▶全国学会への参加

主な連携施設

社会医療法人大雄会第一病院、蒲郡市民病院、
医療法人昇樹会上野レディースクリニック、
医療法人淳和会内田クリニック、
医療法人図書館通おかもとマタニティークリニック、
さわだウィメンズクリニック、奈倉レディースクリニック、森永産婦人科、
医療法人英晃会産科・婦人科 やまだレディースクリニック、
八事レディースクリニック

メッセージ

指導医
主任教授 若槻 明彦



当院産婦人科は多忙ではありますが、家族的でアットホームな雰囲気です。是非、共に臨床、研究をという意志をお持ちの方は遠慮なくご連絡ください。

医師の出身大学などは全く無関係です。実際に我々の医局では、高知大学、新潟大学、

名古屋市立大学、藤田保健衛生大学などの出身者が9名在籍しています。腹腔鏡下手術が目的の場合、平成28年は457症例の腹腔鏡下手術を行っておりますので、比較的早期での技術獲得が可能です。当院は日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医が4名在籍しており、技術認定研修施設にも認定されております。

周産期でも近隣の先生方に多くの症例をご紹介頂いているので、多くの多彩な症例を経験することが可能です。また、これから研究を志す方あるいは病院で数年間働き、その後に学位論文の取得を目指す方なども大歓迎です。我々と共に働こうという志のある方、また少しでも興味のある方はお気軽にご連絡ください。

募集要項

採用予定人数	6人	
給与/月額	基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円	
当直回数/月	大学:5~6回	
当直料/回	産婦人科 宿直手当 約32,000円	
その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※産婦人科では毎週1日(午前・午後)外勤当直などの幹旋があります。	
応募連絡先	担当者	篠原 康一
	電話番号	0561-62-3311
	Eメール	sino0114@aichi-med-u.ac.jp

豊橋市民病院



病院長名 加藤 岳人

所在地 〒441-8570 愛知県豊橋市青竹町字八間西 50 番地

交通案内 豊橋鉄道バス「豊橋市民病院線」
◇のりば 豊橋駅前…7 番◇所要時間 約 15 分◇料金 大人片道 270 円

病院の特徴

豊橋市民病院は一般病床780床を有する東三河医療圏唯一の第三次医療機関で、地域医療支援病院、DPCII群病院でもあります。

2016年には、高度放射線治療棟が完成し、放射線治療・検査機能が向上しました。また、手術センター棟の増築を計画しており、ハイブリッド手術やロボット手術等により適した設備環境が整備される予定です。

専門医取得のため、指導体制や必要な症例、設備面において十分な体制を整えています。

皆さんと一緒に働けることを職員一同心よりお待ちしております。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

豊橋市民病院産婦人科専門研修プログラム

【研修目標】

- ① 周産期領域、婦人科腫瘍領域、生殖・内分泌領域、女性のヘルスケア領域の4領域にわたり、十分な知識・技能を持ち、標準的な医療の提供ができること
- ② 必要に応じ、産婦人科領域以外の専門医への適切な紹介・転送の判断ができ、他領域医師からの相談にも的確な対応ができること
- ③ メディカルスタッフの意見を尊重し、患者から信頼され、地域医療を守る医師となること
- ④ 単なる知識の暗記でなく、知識を駆使し一人一人の患者の全身状態、社会的特性に配慮し、最適な医療を提供する計画を立て実行する能力を修得すること

上記を当プログラムの目標としています。

【研修期間】

3年間

研修修了後も当院にて継続的にサブスペシャリティ研修が可能です。

【研修スケジュール】

3年間のうち、当院での研修は6ヵ月以上24ヵ月以内、他連携施設での研修は1施設につき24ヵ月以内、指導医のいない施設での研修は12ヵ月以内となります。

主な連携施設

【連携施設】

名古屋第二赤十字病院

豊田厚生病院

名古屋記念病院

名古屋掖済会病院

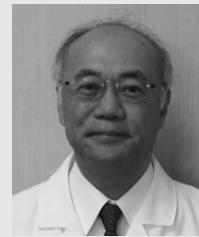
刈谷豊田総合病院

津島市民病院

メッセージ

指導医

医局長 兼 産婦人科第一部長 **河井 通泰**



豊橋市民病院は、東三河全地域から産婦人科の多くの疾患が集まってきます。

周産期について当院は総合周産期母子医療センターに指定されています。超緊急帝王切開術は麻酔科などの協力もあり、手術決定から児娩出まで20分程度の短時間で

可能です。2人当直であるので安心して上級医に症例をコンサルトできます。

婦人科がん患者の治療症例数は愛知県内で3番目であり、多数例を扱っています。

子宮頸癌・体癌についてはほぼ腹腔鏡で手術を行っています。内視鏡技術認定医の資格も取得可能です。またダビンチ手術も行っております。

生殖医療は総合生殖医療センターがあり、体外受精も多く行っております。とくに受精卵の質をタイムラプスで診断することを世界で初めて開始し、その結果を世界に発信しています。採卵、胚移植の技術も取得できます。

女性のヘルスケア分野の外来診療、手術診療も習得できます。当院は指導体制が充実しており、質の高い医療を提供しています。

是非当プログラムに応募してください。

募集要項

採用予定人数	4人	
給与／月額	月ごとの平均支給総額 798,000円 うち基本支給額366,000円(H28度実績)	
当直回数／月	6～7回／1月あたり	
当直料／回	34,400円／回	
その他	給与の他、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当など、各種手当が支給されます。	
応募連絡先	担当者	豊橋市民病院 管理課職員担当
	電話番号	0532-33-6277
	Eメール	hosp-kanri@city.toyohashi.lg.jp